

2026

一宮 平和のつどい

～戦争をしない・させないために～

第二次世界大戦では、世界で何千万人という市民が犠牲となり、この一宮でも、2回の空襲で甚大な被害がありました。

私たちは、再び、このような戦争をしないという決意で作られた日本国憲法のもと、平和国家として歩んできました。しかし、現在、世界の至る所で戦火があがっています。どうしたら、世界から戦争がなくなるのか、いっしょに考えてみませんか。

日時：2026年8月8日（土）13：00～17：00
8月9日（日）10：00～16：00

場所：一宮スポーツ文化センター

（真清田神社北隣：尾張一宮駅から徒歩約15分）

■主なプログラム（詳細は裏をご覧ください）

講演：『戦争させない社会にー市民の声を紡ぐ新聞記者たちー』

講師 木原育子さん（東京新聞社会部デスク）

展示：一宮空襲調査発表、戦争絵本・マンガ

高校生が描いた原爆の絵

中日新聞サンデー版（戦争と平和展）

■入場無料■

主催：一宮平和のつどい実行委員会

後援：一宮市教育委員会

中日新聞社

一宮市老人クラブ連合会

お問い合わせ：090-9261-7479（柴田）

2026 一宮・平和のつどい ～戦争をしない・させないために～



昨年8月の「2025 一宮・平和のつどい」

■プログラム■

(場所：一宮スポーツ文化センター2F)

※内容は変更する可能性があります。

イベント広場

- 8日 13:00 開会式(うたごえ、日本国
憲法前文・9条朗読など)
15:00 一宮空襲調査報告
9日 10:00 紙芝居「いくさの少年期」
DVD「戦争のつくり方」
13:30 講演(木原育子さん)
15:30 閉会式
16:30 真清田神社前スタンディング

展示室1

高校生による原爆の絵
戦争当時の生活用品
戦争・平和の絵本・マンガ

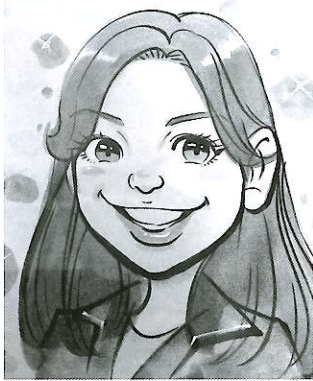
展示室2

中日新聞サンデー版
(戦争と平和展)

●講演：『戦争させない社会に—市民の声を紡ぐ新聞記者たち—』

時間：9日(日)13:30～15:00

講師：木原育子さん(東京新聞社会部デスク)



愛知県一宮市出身、一宮高校を経て名古屋大学大学院国際言語文化研究科卒。2007年に中日新聞社入社。石川、滋賀、静岡勤務の後、東京社会部で警視庁、東京都庁を担当。社会福祉士、精神保健福祉士の資格を得て、6年在籍した特別報道部では司法福祉や精神医療、女性の権利、児童養護など福祉の問題を中心に取材。アイヌ民族の差別問題で、メディア・アンビシャス大賞を受賞。著書「服罪—無期懲役判決を受けたある男の記録」では日隔一雄・情報流通促進賞を受賞した。昨年8月から半年間、ジャーナリズムを学び直すため、一時休職して、バンコク・チュラロンコン大学に留学した。趣味はヨガ。現在は社会部デスク。

■会場までのアクセス■

- JR尾張一宮駅・名鉄一宮駅下車
徒歩15分(約800m)
- 駅からバスをご利用の場合
名鉄バス「スポーツ文化センター前」
下車徒歩1分

※駐車場について

施設の駐車場が満車の場合は周辺の
駐車場をご利用ください。
(駐車場はいずれも有料です。)

